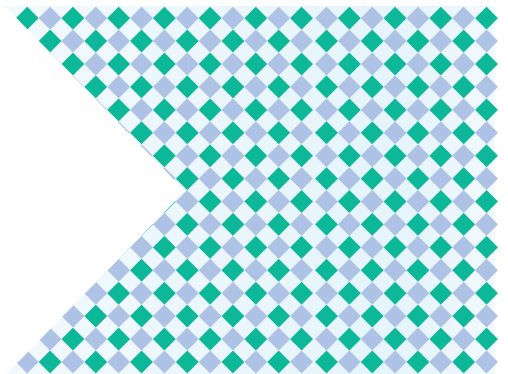


# GPN Column

グリーン購入ネットワーク コラム Vol.11



## PLATFORM for REDESIGN 2020

— Online Platform on Sustainable and Resilient Recovery from COVID-19—

(新型コロナウイルスからの復興と気候変動・環境対策に関する「オンライン・プラットフォーム」閣僚級会合について)

### 大井 通博

(環境省 地球環境局国際連携課長)

2020年9月3日、環境省は新型コロナウイルスからの復興と気候変動・環境対策に関する「オンライン・プラットフォーム」閣僚級会合を開催した。会合では主に各国における新型コロナウイルス対策と気候変動・環境対策に関する具体的な行動や知見の共有を行った。

#### 1. 背景・経緯・概要

国連気候変動枠組条約（UNFCCC）第26回締約国会議（COP26）はコロナ禍のため2021年11月に延期されたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大が世界の社会経済システムを停止・遅延させている間も、気候変動や環境劣化は進んでいる。豪雨や台風による河川氾濫や洪水が世界各国で発生しているほか、気温上昇と少ない降水量のために森林火災が引き起こされている。

2020年、世界経済はCOVID-19によって大きな打撃を受けたが、世界は力強い回復に向けてスタートを切った。その起爆剤こそ、環境と成長の好循環であった。回復においては、気候変動／環境劣化への対応を進め、野心レベルの向上と緩和・適応の具体的な行動をとることが必要である。2020年はパリ協定の本格運用が開始され、低炭素開発のための長期戦略にも関連する、国が決定する貢献（NDC）の通報・更新も求められている大事な年でもあった。コロナ危機と気候危機という2つの危機に対処する上で、世界のすべての国が協力し、包括性をもって取り組むこと（Inclusiveness）は不可欠である。

世界各国におけるコロナからの復興と気候変動・環境対策



PLATFORM for REDESIGN 2020



会合はすべてオンラインにて実施され、各国の大臣・副大臣が取り組みを紹介した

に関する情報共有をし、コロナ禍においても気候変動対策が後退しないよう、世界の機運を高めていくことを目的とし、

[続きはGPN会員専用ページからご覧いただけます。](#)